

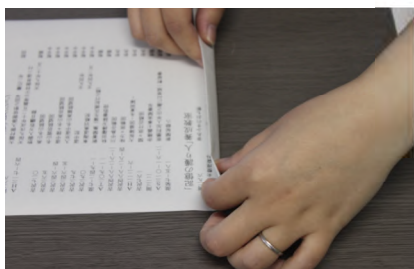
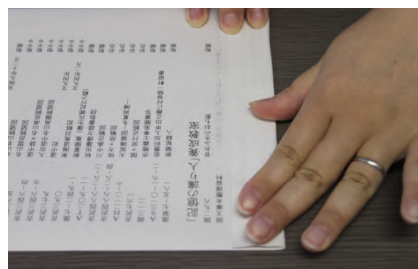
ぐっとくる 👍 古文書LIFE 展示パンフレットの作り方 後半展示〈継紙形状版〉

- ・企画展「ぐっとくる 👍 古文書LIFE」の展示パンフレットは、観覧者の皆様が御自宅で作る[クラフト型]です。
- ・継紙形状の古文書のカタチを作ってみましょう。



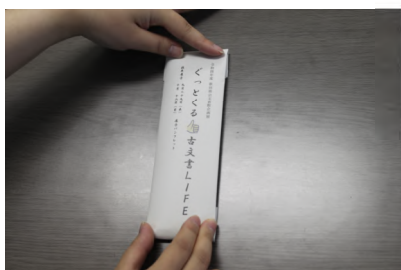
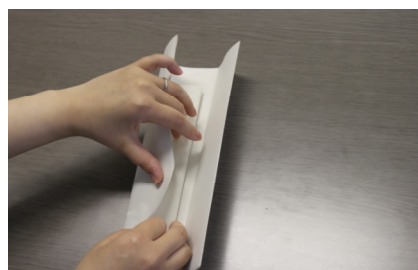
展示パンフレットは、B5判7枚(本紙用)とB4判(包み紙用)1枚です。

〈本紙を貼る〉2枚目の右端2ミに糊をつけ、1枚目の左端の下と貼り合わせ、7枚目までつなげます。



〈本紙を折る〉本紙左端の灰色の線に向けて紙を折り、そのまま巻いてゆきます。指に力を入れましょう。

〈包み紙を作る〉最初は縦に二つ折りし、そのま三つ折りにします。



〈包み紙に本紙を入れる〉三つ折りにした包み紙に巻き終わった本紙を入れ、包み紙の上下を裏側に折り込めば完成！

令和四年度 秋田県公文書館企画展

ぐつとくる👍古文書LIFE

後半展示 九月二十九日（木）
十月十六日（日） 展示パンフレット

ぐつとくる 古文書 L I F E

後半展示 九月二十九日（木）
十月 十六日（日）

展示パンフレット

あいさつ

「もしも、古文書が読めたなら」「もしも、くずし字を読むことができたなら」
和紙に思いのたけを書き綴った昔の人の気持ちがわかるようになることでしょう。

当館では、平成五年（一九九三）開館以来、毎年「古文書解読講座」を開催し、くずし字解読に興味を持つ方の支援を行ってきました。

この展示は、前半・後半で大幅に展示品を入れ替えて、古文書のおもしろさ、奥深さ、そして古文書を収集・保存する公文書館（アーカイブズ）の活動を紹介するものです。

くずし字を学ばれたことのある方、これから学んでみようという方、いずれも「ぐつとくる」時間をお楽しみいただければ幸いです。

令和四年八月吉日

秋田県公文書館長

この展示は

DX Digital Transformation のためのデジタル化推進の見地から、展示資料の画像及び付帯情報を、閲覧者である皆様が、お手持ちの携帯電話等モバイル機器のQRコード読み取り機能をお使いになることで、機器に表示される仕組みを採っております。使用方法は、展示ラベルのQRコードを読み取るだけです。是非お試しください。

古文書は「いもんじょ」

と読みます。日本では古くから、売買・貸借・譲与・契約などの必要により作成される文書を「いもんじょ」と呼んでいました。文書が作成されてから時間が経過し、古くなった「いもんじょ」が古文書というわけです。ですので、古文書は高等学校の国語の時間に学ぶ「いぶんの書」ではなく「古いいもんじょ」というわけです。

古文書とは

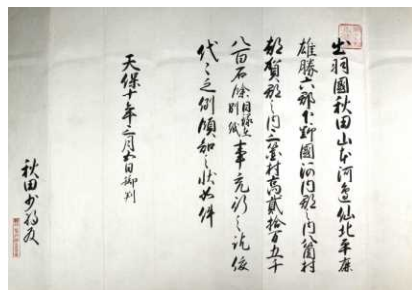
狭義では「差出者と受取者がある文書」となります。これは、文書とは、ある事柄に対する意思表示を文字により相手方に交付するものであるからです。人が人に出す書状、神仏に誓う誓詞、政治の場上で上位者が下位者に出す命令といった類です。しかし今日では「古記録・系図・古典籍までも含めて、現代よりある程度さかのぼった古い書類」と広く捉えるのが一般的です。

この展示案内は

継 つぎがみ 紙形式になっています。二枚目の右端二ミリのをのりしろにして、一枚目の左端をその上に置いて糊付けします。そのまま七枚目まで糊付けし、糊が乾燥したら、左端から巻いてゆきます。最後に包紙で包んで完成です。

展示コーナーと主な展示品の紹介

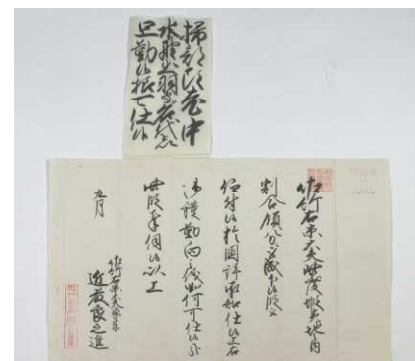
和紙と墨の奥深いDEEPな世界 堅紙・継紙・折紙・横帳・堅帳など、古文書の様々なバリエーションを紹介します。



〔堅紙〕家慶公御判物

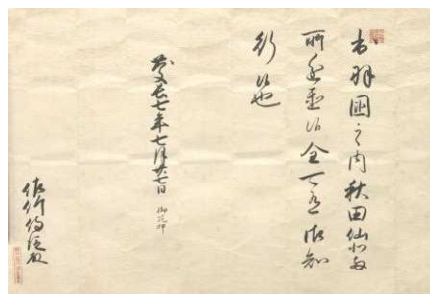
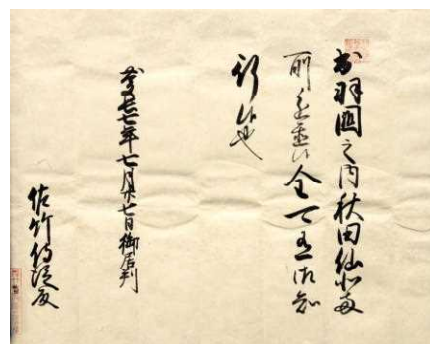
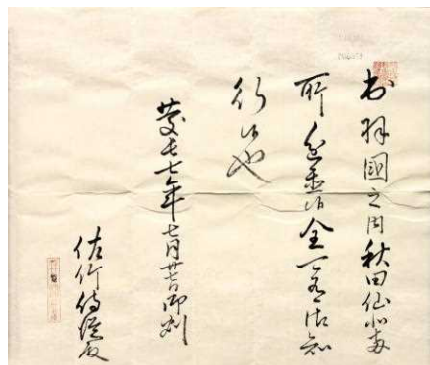


〔折紙〕節姫様御直書



〔切紙〕佐竹右京大夫家来近藤大之進伺書

写すんですに👍ぐつとくる 何種類も写しが作られた「権現様御判物写」や慶応四年（一八六八）戊辰戦争時の太政官の沙汰書、奥羽列藩同盟の盟約書などから、藩士の仕事「文書を写す」に着目します。



何種類も写しが作られた「権現様御判物」(佐竹文庫)

秋田の美女に👍ぐつとくる 天保十年（一八三九）院内銀山の美女を描いた絵図にうつとりするコーナー。





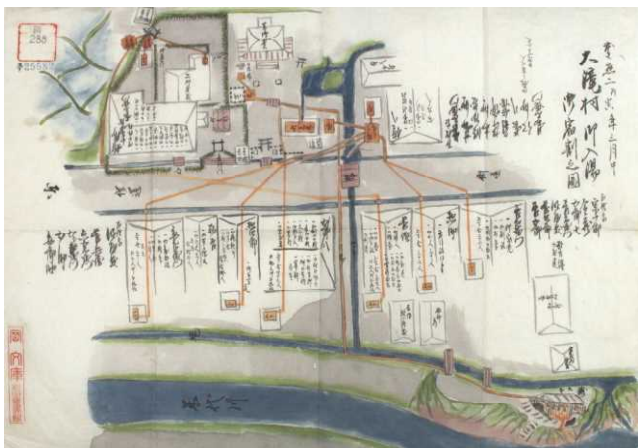
▲「おふさ 御とし十九ノよし。振袖空
色縫也。髪ハ勝山ニテ無之、折髪也。絵
注文之通ニ無之残念。此御方美人
也」の貼札がある。そっくりに描けてい
ない無念さをにじませるほど美しい女
性だったのでしょう。

ぐつとくる 古文書セレクション

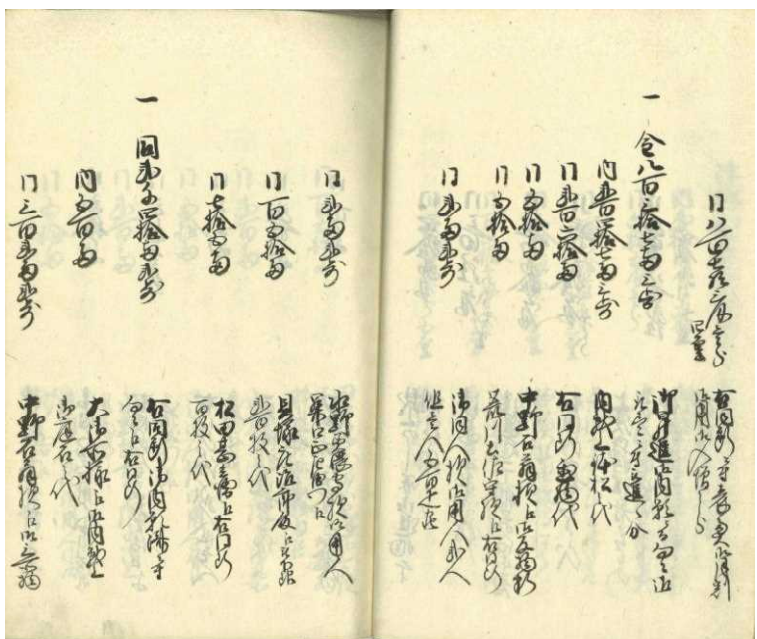
現代人には解読が難しくくずし字を書いた過去の人たちも私たちと同じ人間。このコーナーでは、過去の人たちの考えや行動の〈意外性〉、過去の人たちの考えや行動への〈親近感〉、私たちが学校の授業で学ぶ〈知識との接点〉という三つの観点から、興味深い古文書を紹介します。

〈意外性〉

▼「大瀧村御入湯御宿割之図写」(岡二
九八)慶応二年(一八六六)秋田藩主・
佐竹義堯が大瀧温泉(現・大館市)で湯
治をした際、藩主や民家に宿泊する藩
士が入る風呂への配管が描かれていま
す。藩主と同じ湯にかかるのは誰？



▶▼「天保九戊戌年十二月義厚公
少将御昇進三付惣御入方取纏目録」
(AH三二七六四)秋田藩主・佐竹
義厚が少将に昇進する際に使った
賄賂のリスト。五百両の盆栽と鉢植
や中野石翁(十一代將軍・徳川家斉
の愛妾・お美代の方の養父)に五十
両の反物を贈ったとあります。





▲「入京道中名山高嶺眺望図 巻ノ四」(吉沢346-5)の富士山。上京した藩士たちの帰路は、東海道・江戸・奥州街道のルートでした。



▲同資料の安達太良山。安達太良山は、明治32年(1889)噴気活動が活発化し火焰現象が起き、後に噴火しています。ここには、山頂から噴煙が立ち上る様子が描かれています。



▲「高山名山眺望図 巻ノ一」(吉沢720)にある鳥海山



▲「道中諸々名山高岳眺望図 巻ノ三」(吉沢346-3)にある立山



▲同資料の比叡山。藩士たちは越後・信濃・美濃・近江を抜けて京へ

文久三年(一八六三)八月、秋田藩主・佐竹義堯に朝廷から上京の命令が下り、代理として家老・戸村十太夫がします。戸村に随行した藩士・吉沢清永は、明治三十年代、かつての秋田・京都間の道をたどり、若き日の自分が見た風景を描いています。ここに描かれた山並みは、百二十年前の景色です。

〈親近感〉

世の中に我は何なる那須野原為事もなく年や経ぬべき

世の中に我は何なる那須野原為事もなく年や経ぬべき

思ひきや人の行衛そ定めなき 我古里を閑に見んとは

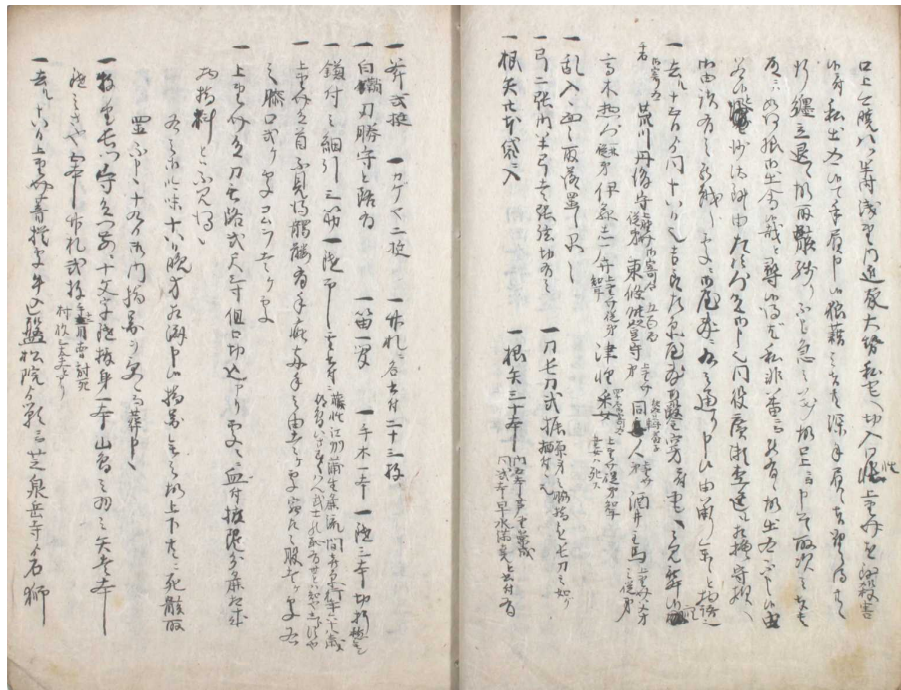
思ひきや人の行衛そ定めなき 我古里を閑に見んとは

限りあれば吹ねと花ハちるものをこゝろみしかき春の山風

限りあれば吹ねと花ハちるものをこゝろみしかき春の山風

►「新著聞集」(混七―二四九―)より蒲生氏郷の和歌。蒲生氏郷(一五五六―九五)は、近江国(現滋賀県)出身の戦国武将。織田信長の娘婿で、豊臣秀吉により会津九十一万石を与えられた人物。歌は会津から上京の旅路で詠んだものと辞世の句。哀愁漂う歌の数々に、悲運な武将の姿が浮かんできます。

〈知識との接点〉



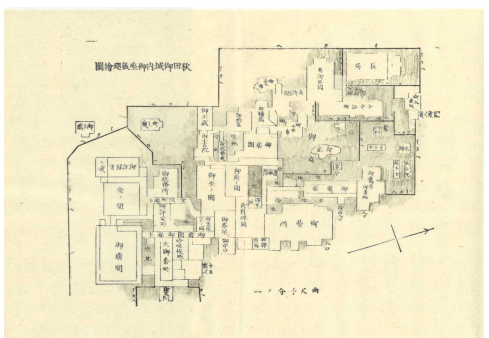
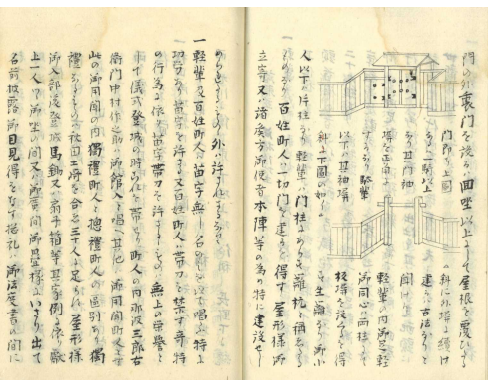
▲赤穂義士事実聞書写(岡312) 元禄15年(1702)12月14日、赤穂浪士47名が、旧主君・浅野内匠頭のかたきとして吉良上野介を討ち取る事件を起こします。この文書には、浪士たちの討ち入りや切腹の様子が記されています。

「記憶の護り人」養成教室

今年度、当館では、ある程度古文書を読むことができる人を集め「記憶の護り人養成教室」を開講しました。教室は、五月から十二月まで、毎月一回、午前十時から午後三時三十分までの一日がかり。午前は岡文庫「昔あふきのおも影」の輪読、午後は本館所蔵「岡文庫」の未整理資料を教材に、古文書整理作業の実習をしています。

なぜ今「記憶の護り人」なのでしょう？それは「古文書を読む」「くずし字を解読する」を趣味や教養で終わらせることなく、地域の古文書を地域の人が整理すること、未来の子どもたちに先人の記憶を伝えていくことが求められているからです。

このコーナーでは、未整理の古文書をどのように整理し、誰もが使うことのできる歴史資料とするのかを紹介します。



▲「昔あふきのおも影」(岡296) 明治時代、旧藩士・長瀬直温による秋田藩時代の回顧録。上は、藩士の階層に応じて屋敷の門の造りが異なる記述。下は丁と丁の間に挟み込まれていた久保田城本丸の図面です。

展示資料一覧「後半展示」

和紙と墨の奥深いDEEPな世界

AS三二七―一〇七一	家慶公御判物	天保十年三月五日	縦紙
AS三二七―一〇九	御領知目録写	天保十年三月五日	継紙
AS二八九―四五―一	節姫様御直書		折紙
AS三二一〇―一二二	佐竹右京大夫家来近藤良之進伺書	安政六年九月	切紙
AS三二二・五一四	武家諸法度	慶長二十年	継紙

「写すんです」に👍 ぐつとくる

AS三二七―六―二―一	権現様御判物写	縦紙
AS三二七―六―二―二	権現様御判物写	縦紙
AS三二七―七―一	権現様御判物写	縦紙
AS三二七―七―二	権現様御判物写	縦紙
AS三二七―八	権現様御判物写	縦紙
泉六	羽州庄内国絵図	大・彩色
AT二二二・一―一―三	太政官沙汰書写	横切継紙
	明治元年十一月	

AS二二二・一一一一	徳川慶喜追討沙汰書	横切継紙
AT二二二・一一四二一三	奥羽鎮撫総督府副総督達書写他	横切継紙
AT二二二・一一六九一一	奥羽列藩同盟約書写	横切継紙
AT二二二・一一六九一二	奥羽列藩同盟約書写	横切紙

秋田の美女に ぐつとくる

混架五四一―七六 天保十亥八月七日院内銀山御女中御出入之図金銀楼成美画 縦帳

ぐつとくる 古文書セレクション

岡二八八	大瀧村御入湯御宿割之図写	慶応二年	絵図
AH三一七―六四	天保九戌戌年十二月義厚公少将御昇進二付		
	惣御入方取纏目録	天保九年十二月	縦帳
吉沢七二〇	高山名山眺望図		縦半半
吉沢三六五	名山雲岳眺望図		縦半半
吉沢三四六―四	道中諸々名山高岳眺望図		縦半半
吉沢三四六―五	入京道中名山高嶺眺望図		縦半半
吉沢三七九	道中記	文久四年	縦半半
吉沢三九〇	東海道奥羽略記	文久四年二月	縦半半
混七一二四九―一	新著聞集（蒲生氏郷紀行之略）		縦帳
AT二〇九―一一	秋田藩傳方諸書取控		縦帳
吉沢四八八―二八―二	川中島合戦図		彩色
吉沢四八八―二八―四	味方ヶ原戦図		彩色
AH二二二―六	大坂陣場図―冬夏両陣―		彩色
吉沢七六一	関ヶ原付近略図		彩色
岡三一二	赤穂義士事実聞書写		縦帳
AS三二〇―一六―二	亜墨利加人申出之趣に付登城一件留書		縦帳
混架七一五八一	新聞秘録八		縦帳

「記憶の護り人」養成教室

岡二九六 昔あふきのおも影 縦帳

岡文庫未整理資料

左端をこの線に合わせて折り、そのまま巻いてください。

秋田県公文書館 令和四年度企画展

発行日 令和四年九月二十五日

編集・発行 秋田県公文書館

〒〇一〇〇九五二

秋田市山王新町一四一三一

電話 〇一八（八六六）八三〇一

FAX 〇一八（八六六）八三〇三

ぐつとくる  古文書 LIFE

後半展示パンフレット